

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



先日、県教育委員会の鈴木淳一教育長と近しく話をする機会を得ました。鈴木教育長の教育的信条は「心が動けば、頭も動く。心が動けば、体も動く。」とのことでした。話を聞いて「確かにそうだよな」と思いました。この言葉に出あったのも何かの“縁”です。2学期は、これまで以上に子どもたちの「心」に灯をともし動きかけをしていこうと思います。子どもたちの大いなる変容を期待して。



本校から「クラスター」を発生させないために！

— 保護者の皆様へのお願い —

市中感染、家族内感染が増えている中、本校からいつ「新型コロナウイルス感染症」の感染者が出てもおかしくない状況です。まずは、校内に「ウイルス」を持ち込まないように「水際対策」を強化します。その上で、「新しい生活様式」を実行しながら、できるだけ“通常の教育活動”を行っていきます。

【保護者の方へのお願い】

- 1 毎朝、必ずお子さんの検温をし、「健康観察記録表」へ記録をしてください。
- 2 発熱等かぜ症状がある場合は、必ず休ませてください。（「欠席」ではなく「出席停止」扱い）
- 3 登校後体調不良を訴えた場合は「早退」させますので、迎えにきてください。

これまで同様、来校者には「手指の消毒」と「来校者名簿への記載」をお願いしていきます。また、「外部講師」等子どもたちと長時間にわたって関わる方には、加えて「体温」と「体調」を確認していきます。お互いに「自分が感染しているかもしれない」という意識に基づいた行動が大切になります。

なお、9月実施の「授業参観」については、「密を避けるための工夫」が必要だと考えています。改めて協力をお願いすることになりますので、ご理解をお願いいたします。

「スクール・サポート・スタッフ（SSS）」が配置になりました

元木幹雄SSSが、8月24日（月）から本校に勤務します。「新型コロナウイルス」感染防止を主たる目的として、すべての学校に配置されるものです。本校では、特に「消毒作業」を中心に、事務補助を行ってまいります。

ということで、1学期の消毒作業を「保護者ボランティア」の方に担っていただきましたが、2学期のスタートは、取りあえず“大丈夫な状況”となりました。改めて、協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。

【校長のつぶやき】 その40 「“北風”と“太陽”と」

ドラマ「半沢直樹」を楽しみに見ている。前にも書いたが、池井戸作品は“私の心”をくすぐるのだ。視聴率もいらいしい。なのに、今回は、“100%はのめり込めない自分”がいる。

それは、「“恫喝”のように力で相手をねじ伏せる場面」に起因している。これは、正義を貴き悪を懲らしめる“水戸黄門の印籠”的な場面で、このドラマの“肝”である。いわゆる「倍返し」である。でも、この場面がしっくりこないのだ。なぜだろう。教育現場でもこのような指導をすることがある。「北風」のような指導である。

一方で、「太陽」のような指導もある。“心に寄り添う指導”とも言える。刑事ドラマでカツ丼を食べながら「おまえの気持ちは分かるよ。でも、やったことはいけないよな。」「はい、申し訳ありませんでした。二度といたしません。（涙がポロッ）」というような場面である。また、悪いところには片目をつぶって、少しでもよいところを認めることで「よりよき成長」を促す指導もある。

ご存じだろうか、2020年4月に「改正児童虐待防止法」が施行され、「親の体罰」が禁止された。しつけの手段として「体罰を行使してはいけない」ということである。世の流れは、「北風」のような指導から「太陽」のような指導へと移っている。

半沢直樹にやり込められた“わるもの”たちは、新しい居場所で改心して生きているであろうか。恨みや辛みを心に抱えたまま斜に構えて生きてはいないだろうか。なぜか、「倍返し」よりも、「施されたら返し返す。恩返しです。」という大和田常務の言葉の方がしっくりくる今日この頃である。